

平成 28 年 10 月 1 日

平成 28 年度 学校関係者評価報告書

学校法人南京都学園 京都動物専門学校 学校関係者評価委員会は、「平成 27 年度 自己点検・評価報告書」に基づき、平成 28 年度の学校関係者評価を実施し、以下にこれを報告いたします。

開催日時

平成 28 年 9 月 29 日（木）13：00～15：00

出席者 委員長以下 15 名

評価項目と学校関係者評価・意見

評価項目	評価・意見	対応等
1 教育理念・目標	建学の精神のもと、教育理念・目標を定め、社会のニーズに対応した人材の育成に努力している。在校生や保護者のみならず広く教育理念等を伝える必要がある。	校内の指定場所に教育理念や目標を掲示する。また、在校生の保護者や関連業界、一般の方に対しホームページ等での情報を公開する。
2 学校運営	運営に関しては、事業計画等によって、明確化・組織化がなされており、運営上特に問題はない。	全教職員へ運営方針及び事業計画等の周知徹底を図る。
3 教育活動 [カリキュラム・成績の評価] [授業の評価] [学校行事] [教員の指導力向上]	人としての「人間教育」と専門職としての「技術知識の教授」を行うためには、カリキュラム編成・学校行事の見直し・教員研修実施など、常に生徒が社会人として活躍できるには何が重要かを考えなければならない。	学園の教育理念を基盤とした教育をシステム化し、実施するよう努める。授業・担任評価の結果を教育活動に活かす必要がある。教員研修での指導力の向上や工夫ある授業・行事を行い、生徒にフィードバックできるように心掛ける。

4 学修成果	動物看護師コースにおいては、動物看護師認定統一試験の合格率及び平均点もいい結果が残せた。しかし、2525時間の教育課程修了は、生徒によっては大きな負担となっている。トリマーコースにおいては、トリマーライセンスや資格類について検討中である。	動物看護師コースにおいては、カリキュラムの見直し及び授業の工夫を行う。トリマーコースにおいては、新たなトリマーライセンス導入を検討と関連資格の検討と導入を行う必要がある。
5 学生支援	企業との連携を計り、インターンシップや連携施設内研修を積極的に行う。その中で良い評価を得て、早い段階で企業から就職内定をいただけるよう、人材の育成を目指している。	生徒一人ひとりの学習レベルや個性に合わせた就職指導が求められるため、個別相談等の機会を増やして対応する。業界団体と連携し、ペット業界の合同企業説明会に参加。
6 教育環境	施設・設備も適法であり、防災・防犯の意識も高く適切に管理されている。 また、インターンシップや海外研修の場も設定されている。	学生にとって、より安全で、魅力ある教育環境となるよう努力する。
7 学生の受入れ募集	専修学校の規定や学則に則り、適切に学生募集が行われている。	適切な学校情報の公開に努める。学校が求める学生像と志願者が求める学校像が合致するよう常に心がけている。また、志願者が必要とする情報の提供に努めている。
8 財務	経費節減等に努力されている。	外部監査による健全な学校運営を維持するとともに、経費節減に努める。
9 法令等の遵守	適正に運営されている。	教育関連法規、その他の法令を遵守し、適正に運営している。
10 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献については、有効に実施されているが、もう少し手を加える必要がある。	地域に親しまれる学校行事やイベントを強化する。「徳・体・智」の調和のとれた人格の形成を図り、国家・社会に貢献できる人間育成を目指す。

以上